

整備事業評価書

(都道府県名:神奈川県)

政策目的	事業実施 地区数 ア	評価対象 外地区数 イ	評価対象 地区数 アイ	成果目標の平均達成率	評価対象 地区数のうち、都道府 県が事業 実施主体 へ改善指 導を必要と した地区数	地方農政 局等から都 道府県計 画の改善 指導の必 要の有無	都道府県による総合所見	地方農政局等による総合所見
産地競争力の強化								
経営力の強化								
食品流通の合理化	2	0	2	182.2	1	無	H19事業 ・成果目標I(物品評価の改善)においては、平成22年は天候不順による全国的な卸売単価の高騰により目標値を下回ったが、平成20年、21年は目標を達成しており、成果目標は概ね達成していると思われる。 ・成果目標II(物流コストの削減)においては、事業実施後大幅にコスト削減できており、成果目標を達成している。 H20事業 ・成果目標I、IIともに、成果目標を達成している。	県平均では目標を達成した。 目標を達成できなかった地区については、県による改善指導が必要

事業実施主体等取組評価報告書(食品流通の合理化を目的とした整備事業)

市町村名	市場名	事業実施主体名	取組の分類	メニュー	成果目標Ⅰ										成果目標Ⅱ										(神奈川県 平成22年度)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考
					事業実施後の状況										事業実施後の状況										事業費 (円)	負担区分(円)						
					計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)	達成率	成果目標の具体的な実績	メニュー	成果目標の具体的な内容	計画時 (平成19年)	1年後 (平成20年)	2年後 (平成21年)	3年後 (平成22年)	目標値 (平成22年)	達成率	成果目標の具体的な実績	事業内容(施設区分、構造、規模等)	交付金	都道府県費	市町村費		その他						
川崎市	川崎市地方卸売市場南部市場	川崎市	卸売市場施設整備の推進	安全・安心な市場流通	物品評価の改善(青果物の全国平均卸売単価を100とした場合、当市場の指数84.1を85.6へ2.4ポイント改善)	全国を100とする指数値に対し84.1(平成16年度)	全国を100とする指数値に対し87.2(平成20年)	全国を100とする指数値に対し87.2(平成21年)	全国を100とする指数値に対し84.6(平成22年)	全国を100とする指数値に対し86.5(平成22年度)	20.8%(市場指数2.4ポイント増の目標値に対し、0.5ポイント増)	卸売単価の全国平均卸売単価を上回り、目標値を1.9ポイント下回った。	効率的な市場流通	物流コストの削減(施設の管理コストを1.3%以上削減)	平成18年度現状管理費を100とする	平成18年度現状管理費に対し49.5%の削減	平成18年度現状管理費に対し47.5%の削減	平成18年度現状管理費に対し44.9%の削減	計画時の管理費に対し27.8%の削減(平成18年度の72.2%)	161.5%(計画時の管理費に対する27.8%減の目標値に対し、44.9%減)	温度管理設備の改良により、管理経費が大幅に削減できた	青果定温倉庫冷凍設備を空冷式に改良、定温倉庫横出入口設置工事	57,776,205	18,641,000	0	39,135,205	0	H20.3.18	(1)成果目標Ⅰにおいては、天候不順の影響で全国的に卸売単価が高騰したことから、物品評価の改善における卸売単価は目標値を下回った。 (2)同Ⅱにおいては、温度管理設備を水冷式から空冷式に改修することにより、熱効率が上がり、光熱水費等の経費が節減された。	成果目標Ⅰ(物品評価の改善)においては、目標年である平成22年に天候不順の影響で全国的に卸売単価が高騰し、物品評価の改善における卸売単価は目標値を下回ったが、平成20年・21年は連続で目標値を超えており、全体として成果目標は概ね達成していると思われる。	成果目標Ⅱ(物流コストの削減)においては、目標値を大幅に超えてコスト削減が認められ、成果目標を十分に達成していると思われる。	
川崎市	川崎市地方卸売市場南部市場	川崎市	卸売市場施設整備の推進	安全・安心な市場流通	物品評価の改善(全国を100とした場合、当市場の指数100.07を102.47へ2.4ポイント改善)	全国を100とする指数値に対し100.07(平成19年度)	全国を100とする指数値に対し106.56(平成21年度)	全国を100とする指数値に対し109.54(平成22年度)	全国を100とする指数値に対し102.47(平成23年度)	394.5%(市場指数2.4ポイント増の目標値に対し、9.47ポイント増)	計画年度と比較して、切花類の当市場卸売単価が約10%増となっている	効率的な市場流通	集荷力の向上(目標年度における取扱数量が4.6ポイント超過)	当市場卸売現状推計値18,063千本(平成19年度)	当市場卸売現状推計値19,559千本(平成21年度)	当市場卸売現状推計値19,319千本(平成22年度)	計画時と比較して8.3%超過	計画時と比較して7.0%超過	当市場卸売目標値18,900千本(平成22年度)	152.1%(取扱量4.6ポイント増の目標値に対し、7.0ポイント増)	計画年度の現状推計値と比較して、取扱高が約7%増となっている	鉄骨(モルタル)造低温卸売場702㎡(内低温売場342㎡)仲卸売場126㎡低温保管施設57㎡	104,568,870	34,856,000	0	69,712,870	0	H21.2.20	温度管理が可能な施設の整備により、産地の信頼を得ることができ、品揃えの拡充、集荷力の向上を図ることができている。	成果目標Ⅰ(物品評価の改善)、成果目標Ⅱ(集荷力向上)ともに目標値を大幅に超えており、成果目標を十分に達成していると思われる。		
都道府県平均達成率					総合所見										都道府県平均達成率182.2% H19事業 ・成果目標Ⅰ(物品評価の改善)においては、平成22年は天候不順による全国的な卸売単価の高騰により目標値を下回ったが、平成20年、21年は目標を達成しており、成果目標は概ね達成していると思われる。 H20事業 ・成果目標Ⅰ、Ⅱともに、成果目標を達成している。																	